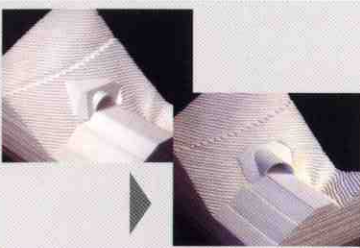


## 白神ラインの景観デザイン

白神ラインは環境・景観への取り組みを重視しています。設計にあたっては、道路の建設により形成される景観を事前に予測する「景観アセスメント」を実施しました。意見聴取の場となった津軽ダム付替道路景観懇談会は、弘前大学・北原教授を座長に、住民、地域活動リーダーや自治体・関係機関から13名が参加し、景観形成の方針や具体的なデザインについて評価を行ない、この結果が設計に反映されました。



山間に岩峰を眺望の図・平尾魯仙より

### トンネル 坑口に斜角を設けて地形改変を抑制

坑口周辺に抑え盛土を施して掘進する工法では、周辺の斜面になじまない地形が出現し、かつ山側に大きな切り土が発生します。そのため坑口に斜角を設けるなど形状を見直して地形の改変を抑え、植生が遷移により復元されるよう配慮しています。



### 橋梁 橋梁群としての連続性を創出

白神山地へ至る一連の風景の主役は自然風景ですが、橋梁はこれを引立てる役割があります。斜ウェブ、多角形断面とスリットが特徴的な橋脚など、構造形式・ディテールを統一し、橋梁群としての連続性を創出します。



### 緑化 自生種の進入を促進し自然植生を復元

のり面の緑化は、周辺から自生種が進入しやすい基盤を形成したり、埋土種子や土壌菌を含んだ周辺の表土を活用するなど、もともとある植生の復元を図ります。また高木を植栽する場合は近隣地域で生育したものを基本とし、伐り株植栽など伐採樹木のリサイクルも検討しています。



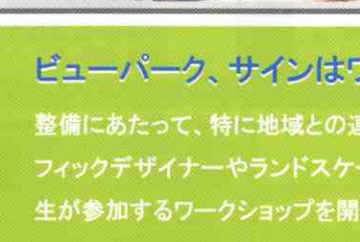
### 付属物 シンプルな形状、透過性

防護柵類や照明柱などは既製品を用いますが、眺望を妨げないようデザインの選択と配置計画に留意しました。里の近くでは親和性を、自然地では維持管理を重視するなど、素材・形状の使い分けも行なっています。



### 色彩 周辺環境にあわせた2つの基調色

照明柱や標識、防護柵など道路付属物の色彩は、河鳥橋南側・居森平への分岐を境界として2つの基調色を設定しています。山岳・湖岸景観主体の白神山地側は、四季の彩が引き立つモトーン、里の景観が広がる弘前側は、暖かみのあるこげ茶色を主体としました。



### ビューパーク、サインはワークショップでデザインしました。

整備にあたって、特に地域との連携が必要なビューパーク(駐車場)やサイン(案内標識)はグラフィックデザイナーやランドスケープアーキテクトなど地域の専門家と自治体、関係機関や大学生が参加するワークショップを開催してデザインを検討しました。



国土交通省 東北地方整備局 津軽ダム工事事務所

〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田57

TEL 0172-85-3005 FAX 0172-85-3016 mail tugaru@thr.mlit.go.jp URL http://www.thr.mlit.go.jp/tugaru/

青森県中南地域県民局 地域整備部

〒036-8345 青森県弘前市大字蔵主町4 TEL 0172-32-1131 FAX 0172-36-5360 mail hi-kendo@pref.aomori.lg.jp

津軽ダム付替道路・ダムサイト迂回路区間  
主要地方道岩崎西目屋弘前線



# 白神ライン

西目屋村砂子瀬 ↔ 藤川

2007

7月 25日

水

## 開通



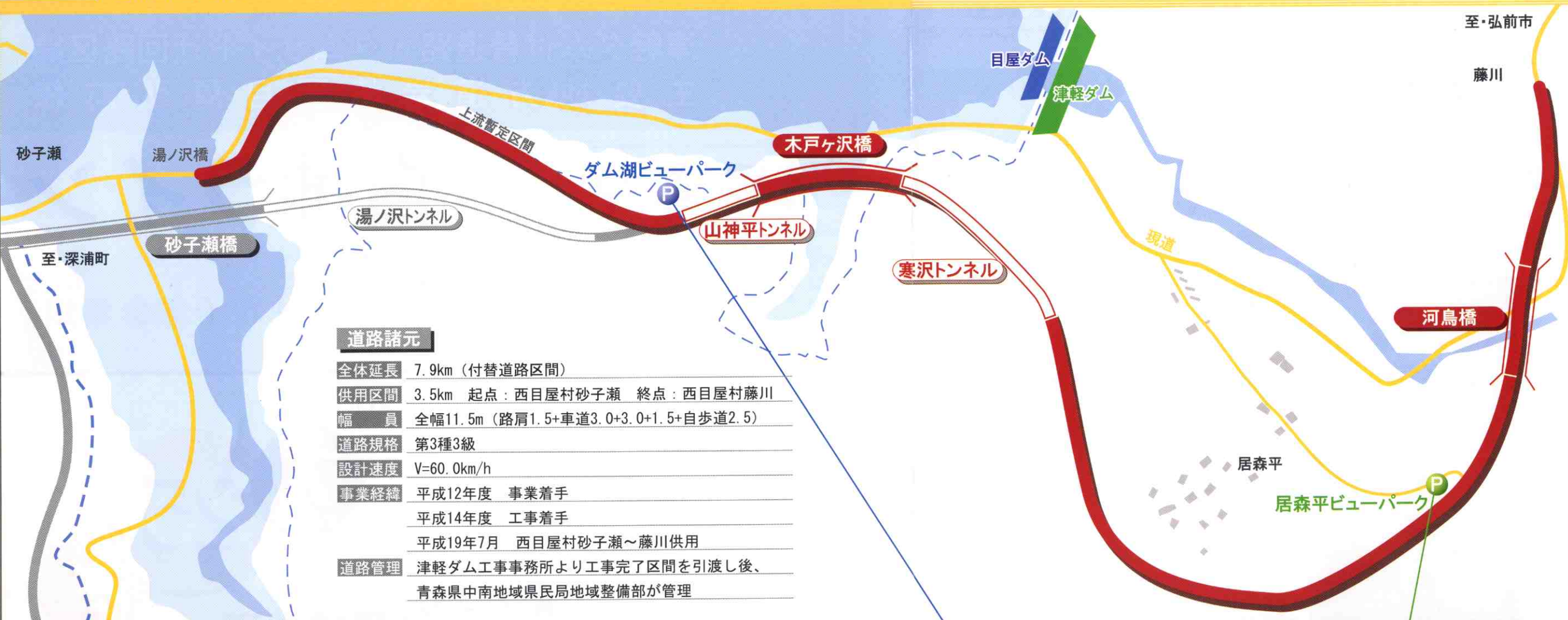
津軽ダムキャラクター  
「ベッカーくん」

環境

景観

津軽弘

国土交通省 東北地方整備局 津軽ダム工事事務所  
青森県中南地域県民局 地域整備部



凡例

	美山湖(現況)
	津軽ダム常時満水位
	津軽ダム貯水池

### 道路諸元

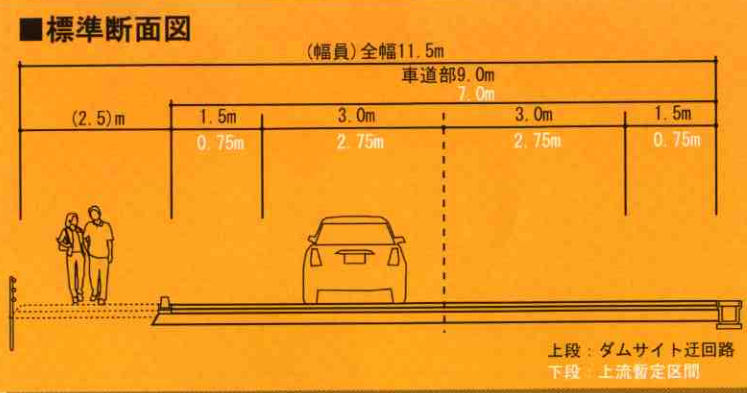
全体延長	7.9km (付替道路区間)
供用区間	3.5km 起点: 西目屋村砂子瀬 終点: 西目屋村藤川
幅員	全幅11.5m (路肩1.5+車道3.0+3.0+1.5+自歩道2.5)
道路規格	第3種3級
設計速度	V=60.0km/h
事業経緯	平成12年度 事業着手 平成14年度 工事着手 平成19年7月 西目屋村砂子瀬～藤川供用
道路管理	津軽ダム工事事務所より工事完了区間を引渡し後、 青森県中南地域県民局地域整備部が管理

白神ライン  
オリジナルロゴを制定

白神ライン  
Shirakami Line

世界自然遺産  
白神山地

白神山地とクマゲラを力強くデザインしたロゴマークを各種の道路案内標識に表示します。



### 2ヶ所の「ビューパーク」もあわせてデビュー

#### ダム湖ビューパーク

対岸の森とダム湖水面のおりなすパノラマ景観を楽しんでください。

#### 居森平ビューパーク

岩木山を望む絶好のビューポイントです。ダムの手体も見えますよ。

### 山神平トンネル

やがみたいトンネル  
延長 129.0m

坑口のギャップ(段差)が、陰影のあるスレンダーな印象を与えます。起点側(白神山地側)は坑口に70度の斜角を設け、地形の改変を抑えています。

### 木戸ヶ沢橋

きどがさわばし  
橋長 97.0m  
プレストレストT型コンクリートラーメン箱桁橋

橋梁は共通のルールによりイメージの連続化を図っています。木戸ヶ沢橋は2つのトンネルをつなぐ橋梁です。

### 寒沢トンネル

さむさわトンネル  
延長476.0m

終点側(弘前側)の坑口は原設計より20m手前に出し、地形なりに造成することで、防災性の向上と地形改変の抑制を図りました。

### 河鳥橋

かとりばし  
橋長 118.0m  
プレストレストT型コンクリートラーメン箱桁橋

弘前側からダム湖畔への導入部となる橋で、地区のランドマークであり、岩木山を望むことのできる視点場ともなります。